

実射訓練検閲・第3次訓練検閲



弾着の様子



観測所で視察する統裁官



統裁官訓示



統裁官への現況報告

実射検閲に先立ち統裁官（師団長）は、「弾先で結果を出せ」の1点を要望し、「迅速かつ精度良好な弾を出せなければ特科部隊の意味がない。観測機関、射撃指揮機関、射撃部隊の三者がよく連携し、それを通信が繋ぐこの団結こそが射撃の神髄である」と訓示した。

この際、併せて第1特科隊（隊長 富永1佐）に対して最後の実射検閲を実施した。

師団（師団長 兒玉陸将）は9月14日から28日までの間、北海道の矢白別演習場において、射撃練度の維持・向上を目的として長距離射撃訓練を実施した。

5年ぶりに北海道で轟く砲声
矢白別演習場で実射検閲



FH-70による射撃

頭号師団



発行元
第1師団司令部
総務課広報班

第1師団
ホームページ
QRコード



統率方針
全ては
任務が
基準

第3次訓練検閲を実施 1後支連・1特防 任務完遂！



診療する師団医務官（井上2佐）



統裁部における認識の統一



激励を受ける1後支連隊長（状況終了時）

師団は10月15日から22日までの間、東富士及び北富士演習場において、第1後方支援連隊（連隊長土工1佐）及び第1特殊武器防護隊（隊長 中村2佐）に対する訓練検閲を実施した。本訓練検閲は師団の総合戦力の最大限発揮に必要な能力の向上を目的として、師団の攻撃における部隊の行動を検閲課題として実施し、その練度を確認した。訓練検閲実施にあたり統裁官（師団長）は1後支連隊に対し「第一線を間断なく支えて戦勝を獲得せよ、1特防に対し「師団の任務達成に最大限寄与せよ」を要望した。



統裁官訓示



師団攻撃命令下達

アドバイザーとして参加

今回の訓練検閲では、師団として初めて、斎藤隆則 予備1佐（元1後支連隊長等）、佐藤 繁文 予備1佐（元第103補給大隊隊長等）、田中 博幸 予備2佐（元第101野病院隊長等）の予備自衛官3名が補助官部アドバイザーとして参加された。3名はそれぞれの勤務経験を活かした助言等により、師団兵站能力向上等に大きく貢献いただいた。



田中 博幸 予備2佐



佐藤 繁文 予備1佐



斎藤 隆則 予備1佐

第1普通科連隊 師団対空実射訓練

第1普通科連隊（連隊長 佐藤 1佐）は9月20日から29日までの間、六ヶ所対空射撃場において、令和4年度師団対空実射訓練（12・7 m m



射座の準備（射座構築）



射撃の様子



射撃指揮所

び大臣直轄部隊が参加した。24日からの実弾射撃において、各射手は主要演習項目である目標の発見・選定、射距離の判定及び射弾の観測・修正に着意して射撃を行い、教育訓練基準を大幅に上回る命中弾を得る等の高い

成果を収めた。本訓練期間は天候や海上の安全確保状況により射撃中止にせざるを得ない日も生じたが、訓練期間内に1件の事故もなく全部隊の射手が対空射撃を実施することができ、その目的を達成することができた。

第32普通科連隊 秋季北富士演習場定期整備

第32普通科連隊（連隊長 榎野 1佐）は、10月31日から11月5日までの間、連隊長を北富士整備隊長とし約1300人をもって令和4年度秋



道路の整備



路肩杭の整備



コンクリートキャンパスによる
溜水の整備

を要望した。本整備は、装軌車等の機動発揮のための機動路整備、機動戦闘車等の戦闘射撃を可能にする射場改修等を実施し、演習場の機能の維持・向上を図るとともに、長期安定使用のため、弾着区域防火帯整備、通信回線整備等の各種演習場機能を維持するための整備を実施した。11月4日、整備した成果を東部方面総監（森下陸将）に視察にいたいただき、大きな指導事項も無く演習場整備の任務を完了した。

第1特科隊 長距離射撃訓練及び実射検閲

第1特科隊（隊長 富永 1佐）は9月14日から28日までの間、北海道の矢野別演習場において、射撃訓練の維持・向上を目的として長距離射撃訓練を実施した。この際、併せて師団が実施する実射検閲を受



射撃部隊による装填動作



陣地変換



射撃命令の起案



射弾下掩蔽部での観測

9月14日、1特は北富士駐屯地を出発、宮城県仙

台港及び青森県八戸港の2海路より北海道苫小牧港へ移動した。渡道後は陸路をもって、矢野別演習場に移動し展開を完了した。20日までに陣地偵察、測量、陣地占領、弾薬受領、火砲の整備等の射撃準備を完了し、21日の状況開始以降、射撃計画に基づき、試射や陣地変換を行いながら、射撃要求に応じて最大約18キロメートルの射距離で射撃を実施し、その射撃速度と精度について評価を受けた。

雨天と晴天が交錯する厳しい気象条件が続く中、ぬかるんだ軟弱な地盤に苦労しながらも観測機関、射撃指揮機関及び射撃部隊の三者が巧みに連携して、整齊と射撃任務を遂行した。実射検閲後は、方面特科連隊新編を見据えた改編後の戦力化に向けての訓練を実施して所望の成果を得た。

第34普通科連隊 台風15号の被害に伴う災害派遣活動

第34普通科連隊（連隊長 水野 1佐）は9月26日から10月3日の間、静岡県及び川根本町において台風15号の被害に伴う災害派遣活動を実施した。



給水活動



住民の避難誘導



土砂・流木等の除去

海洋科学博物館敷地内において給水活動を開始した。翌日から約1000人態勢で清水区内の各地に場所を拡大して7日間、給水活動を実施した。給水活動の他、住民の避難誘導、興津川の取水口に流れ込んだ土砂、流木等を夜間を徹して除去

第1後方支援連隊 第3次訓練検閲

第1後方支援連隊（連隊長 土工 1佐）は10月15日から22日まで



化学攻撃下での指揮幕僚活動

本訓練検閲では、バトラーを装着して北富士演習場への段列の推進及び整備、補給、衛生、輸送、入浴、洗濯等の各種支援業務を実施し、



負傷者の後送

その後、攻撃進展に伴う前方支援隊の派遣及び東富士演習場への段列の推進を行った。また、第1特殊武器防護隊と連携し、化学攻撃対処における師団除染所の運営及び弾薬輸送中の伏撃対処を協同で実施した。

分に県知事からの撤収要請を受け、すべての活動を終了した。

第1高射特科大隊

第5回大隊訓練

第1高射特科大隊（大隊長 矢部2佐）は、10月25日から27日まで、市街地における回大隊訓練を実施した。



目視照準具による対空警戒



HMGによる対空警戒



監視哨掩体構築

大隊は、各駐屯地等への部隊展開から始まり、駐屯地基盤を活用したシステム連接によって一元的な対空戦闘組織を構成することともに、武装工作員等の襲撃等から主要装備品を防護して対空作戦任務を継続する要領について演練した。本訓練を通じて、市街地において作戦する際の教訓を得る等、所望の成果を得ることができた。

第1通信大隊

第3回大隊訓練

第1通信大隊（大隊長 菅場2佐）は、10月3日から21日までの間、第3回大隊訓練を実施した。



整地における電波調査



不審者対応を展示・説明

本訓練は、11月に実施される大隊のゲリコマでの前段訓練と11日から21日までの後段訓練に分けて行い、前段訓練

において、通信所展開地域における電波調査を実施して、通信計画の実行性の確認を図るとともに、師団司令部法務官の防衛法制教育により、各種事態区分に応じた自衛隊の行動と権限について理解することができた。後段訓練においては、警戒自衛戦闘時における大隊本部要員の現況把握及び各種会議資料の作成

要領を演練することともに、大隊CPXを実施して部隊運用計画作成に資する等、ゲリコマ検閲受関に向けた練度を向上した。



作戦会議で指導する大隊長

第1偵察戦闘大隊

オートバイ集合訓練

第1偵察戦闘大隊（大隊長 徳永2佐）は、9月26日から10月7日までの間、朝霞訓練場（オートバイ訓練場）及び北富士・東富士演習場において、令和4年度オートバイ集合訓練を実施した。



朝霞訓練場での練度判定・評価



東富士演習場内での不整地走行

本訓練は、師団内オートバイ操縦指導者（専修員）に対し、オートバイ操縦訓練の指導法及びその評価要領についての認識統一を図り、各部隊の練度を齊一に向上させることを目的として実施した。訓練を通じて、専修員同士の計画に基づく指導法・応用操縦の技能の練度判定・評価要領について、認識の共有を図ることができ、所望の成果を収めることができた。

第1施設大隊

事態対処訓練

第1施設大隊（大隊長 盛谷2佐）は、9月22日、朝霞駐屯地において、治安出動下を想定した事態対処訓練を実施した。本訓練は、治安出動下



大隊長への状況報告



特殊武器防護訓練



出動準備

令前の状況から開始し、下令を予期した指揮幕僚活動及び出動準備から出動までの一連の部隊行動について演練した。また、状況終了後は、出動に伴う権限の教育、神経剤治療用自動注射器の教育、射撃訓練、特殊武器防護訓練等を行うとともに、大隊のAARを実施し、今後の資とした。

第 1 音 楽 隊

第47回定期演奏会



定期演奏会の様子



トランペットを独奏する
佐々木曹長



トロンボーンを独奏する
駒形1曹

第1音楽隊(隊長 新田1尉)は9月27日、杉並公会堂大ホールにおいて、第47回定期演奏会を行った。

演奏会は自衛隊に対する信頼感と親近感の醸成を図ることを目的とし、「祈りと希望」復活の調べ」をテーマに2部構成で行われ、第1部は心に残る日本の歌曲3選として「この道」「海ゆかば」「ふるさと」を、「吹奏楽のための「海の詩・風の詩」」を演奏、第2部はヒビキ pianoさんをゲストに迎え「ウインターゲームス」「戦場のメリークリスマス」を演奏する他、「サマータイム」では駒形1曹がトロンボーンを、佐々木曹長がトランペットを独奏した。最後は「ラブソング・イン・ブルー」をヒビキ pianoさんとのコラボ演奏を行った。同曲のヨーロッパ風なサウンドとジャズを融合させたシンフォニック・ジャズの響きに、対して大きな感動の拍手が寄せられ、大盛況で幕を閉じた。

来場者からは「素敵な時間を過ごすことができ感動しました」などの声が聞かれた。

第1師団司令部付隊 師団対空実射訓練

第1師団司令部付隊(隊長 東畑3佐)は9月20日から29日までの間、六ヶ所対空射撃場において1普連が担任した令和4年度師団対空実射訓練(12.7mm重機関銃)に射撃練度を維持、向上する目的で参加した。24日から実施した対空実射訓練において、稲川2曹、日高3曹及び松田3曹は、主要演練項目である目標の発見・選定、射距離の判定及び射弾の観測・修正に着意して射撃し、陸幕教育訓練基準を大幅に上回る高い命中



指揮通信車からの射撃

第 1 飛 行 隊

ヘリコプターからの機関銃射撃訓練



ヘリコプターからの射撃

第1飛行隊(隊長 松山2佐)は10月31日から11月4日までの間、東富士演習場において令和4年度ヘリコプターからの機関銃(MINIM I)射撃訓練を実施した。本訓練はヘリコプターから射撃を行う1飛の機関銃手の要員を養成するとともに、射手と操縦手の連携要領等の練度向上を図ることを目的に行われた。本訓練を通じ、隊員は地上とは違う空中で停止する不安定なヘリコプターからの射撃着眼等を修得するとともに、操縦手との射撃に関する各種連携要領について演練しその練度を向上させた。

第1特殊武器防護隊 第3次訓練検閲

第1特殊武器防護隊(隊長 中村2佐)は10月15日から22日までの間、東富士及び北富士演習場において、訓練検閲を受閲した。



除染を実施



命令下達



対空警戒



負傷を伴う汚染人員の除染と治療

習場において、訓練検閲を受閲した。

隊は集結地へ進入後、師団除染所を開設。師団攻撃命令下達を受け、対特殊武器戦を実施した。17日、敵航空機による師団予備隊の機動経路に対する化学攻撃を受けた際、隊長は、偵察小隊に速やかに観測報告を実施させるとともに、自ら現場に進出し直接的な指導を行い経路の早期現状回復を行った。

18日、負傷を伴う汚染人員が発生した際、隊長は、除染小隊に1後支連と協同して除染と治療、後送を迅速に実施し、早期に人的戦闘力の回復を図った。

一特防は作戦間、対特殊武器対処能力を随所に発揮し師団の戦闘力の損耗を極限させ、その任務を完遂した。

HTC及び中・重砲訓練任務完遂に伴う部隊表彰



記念撮影（前列左から師団長、幕僚長、師団最先任上級曹長）



表彰を受ける幕僚長

第1師団司令
部は10月5日、
練馬駐屯地体育
館において、北
海訓練センター
訓練（HTC）
及び中・重砲長
距離射撃訓練任
務完遂に伴う部
隊表彰で、師団
長より第3級賞
状が授けられた。

部外行事支援

第34普通科連隊、
第1特科隊及び第1
飛行隊は10月10日、
日本航空学園（山梨
県）の建学90年特別
航空際支援を行った。
34普連及び1飛は
リペリング及びホイ
ストによる要救助者
の救出要領の訓練展
示を行い、1特は火
砲、車両等の装備品
展示を実施した。



支援隊員を激励する師団長



訓練展示



車両展示



装備品展示



雷門の前で記念写真

第1音楽隊は
9月10日、浅草
寺参道並木通り
付近で開催され
た浅草盆踊りに
おいて派遣演奏
を行った。
隊の高い演奏
技術を披露して
約3万人の来場
者を魅了した。



サクソフォンを独奏する米玉利3曹



記念撮影をする懇話会



記念撮影をする隊員家族

師団司令部、1
師付及び1音は11
月13日、練馬駐屯
地においてヘリコ
プターによる航空
機体験搭乗を実施
した。
体験搭乗では、
募集対象者、師団
懇話会を始め隊員
家族等、多の方々
に搭乗して頂いた。

ヘリコプターによる航空機体験搭乗



【第1整備大隊】施設整備



【第2整備大隊】車両回収



【補給隊】燃料給油



【輸送隊】輸送支援



【衛生隊】患者治療



出勤時のあいさつ運動

「隊員全員が主役です」
令和4年4月20日付で第5代 第1後方支援連
隊 最先任上級曹長に拝命しました鈴木准尉です。
第1後方支援連隊の部隊を簡単に紹介しますと、
第1・2整備大隊においては師団各部隊の装備品
の整備を、補給隊においては燃料、糧食、水、入
浴、洗濯及び部品補給を、輸送隊においては大量
の物資・人員輸送を、衛生隊
においてはけがや病気の手当
て等、第1師団各種の兵站・
衛生支援を実施しております。
私が思うに、同じ連隊内の隊
員であります、色々な職種
（補給、整備、輸送、衛生、
通信等）及び駐屯地を異にす
る（6つの駐屯地に分散して
いる）この連隊の准曹士を、
どのようにしてまとめ善導出
来るか日々追求しているところ
であります。

その一つとして取り組んで
いるのが「あいさつ運動」で、
週一回各部隊が担当（もちろ
ん私も参加）して実施してい
ます。あいさつ運動をすること
で少しでも帰属意識が持て
るの思いからです。

私は最先任上級曹長交代式
で上番する際、隊員に言いま
した。「私は准曹士の最上級
者になりましたが主役ではあ
りません。一生懸命頑張っ
ている隊員みんなが本当の主役
です。」と。それはそれぞれ
のところで皆が主役となり行
動し各部隊が団結・連携すれ
ば、いかなる困難な状況の中
でも必ず任務を遂行出来る部
隊になれると考えているから
です。「隊員全員が主役」と
して活躍できる精強な後方支
援連隊を目指します。

CSM



第1後方支援連隊

最先任上級曹長
准陸尉

鈴木 淳二

隊員全員が主役です」
令和4年4月20日付で第5代 第1後方支援連
隊 最先任上級曹長に拝命しました鈴木准尉です。
第1後方支援連隊の部隊を簡単に紹介しますと、
第1・2整備大隊においては師団各部隊の装備品
の整備を、補給隊においては燃料、糧食、水、入
浴、洗濯及び部品補給を、輸送隊においては大量
の物資・人員輸送を、衛生隊
においてはけがや病気の手当
て等、第1師団各種の兵站・
衛生支援を実施しております。
私が思うに、同じ連隊内の隊
員であります、色々な職種
（補給、整備、輸送、衛生、
通信等）及び駐屯地を異にす
る（6つの駐屯地に分散して
いる）この連隊の准曹士を、
どのようにしてまとめ善導出
来るか日々追求しているところ
であります。

退官者紹介

第1師団司令部



1等陸佐
福崎 亮

第1普通科連隊

第2中隊



陸曹長
東原口 増穂

第32普通科連隊

連隊本部



2等陸佐
山田 渉

本部管理中隊



准陸尉
杉内 勉

重迫撃砲中隊



陸曹長
菅原 和彦



陸曹長
荒川 信三

第34普通科連隊

重迫撃砲中隊



准陸尉
望月 寿泰

第1後方支援連隊

第2整備大隊
本部付隊



陸曹長
牧田 昌文

第2普通科直接支援中隊



陸曹長
瀬間 功

補給隊



陸曹長
齊藤 清

輸送隊



准陸尉
奥 一友

第1特科隊

本部管理中隊



准陸尉
大関 一孝



准陸尉
堀 高夫

第1中隊



陸曹長
佐藤 美富

第1高射特科大隊

本部管理中隊



陸曹長
中村 智宏

第1偵察戦闘大隊

本部管理中隊



陸曹長
渡邊 護

第1施設大隊

第2中隊



准陸尉
倉持 正

第1通信大隊

本部管理中隊



准陸尉
對馬 浩

第2中隊



陸曹長
今井 友幸

第1特殊武器防護隊

隊本部



准陸尉
米山 考

第1師団司令部付隊

隊本部



准陸尉
菊池 克弘

隊員家族紹介

「自衛官の妻として」

第1普通科連隊 3曹 山口 成海
花香



夫とは1年半の交際を経て結婚しました。熊本県の島に生まれ、駐屯地が近くにない環境で育った私は、夫と出会うまで自衛官という職業について詳しくは知りませんでした。初めは知識不足で戸惑うことも多くありましたが、今では明るく楽しい日々を過ごしています。定期的に訓練などで2週間ほど不在になることもあり、寂しく心配に思うこともありますが、自分のためではなく困っている方々のためになるよう訓練に励んでいる夫をとても尊敬しています。不在も多いですが、その分長いお休みをいただけることも多いので、お休みの時は長く一緒に過ごすことができます。私が仕事に追われている時は、食事やお風呂の用意をしてくれる優しく頑張り屋の夫です。そんな夫が、日々の疲れを癒し、より心が豊かになれるような環境を作っていききたいと思っています。今後、自衛官の妻として夫をサポートしつつ、夫にも支えられながら2人で成長していきたいと思っています。



完成した結婚指輪（手作り）に喜ぶ二人

「自衛官の妻として」

第1高射特科大隊 3曹 梅木 克人
真美



ディズニーランドで記念写真

主人とは小学校・中学校の同級生で、社会人になり再会し、2年のお付き合いを経て結婚しました。千葉県から静岡県に引っ越して来たときは知り合いもおらずとても不安でしたが、半年経った今では、新しい職場での出会いもあり、とても楽しい結婚生活を送っています。訓練などで長い間家に帰って来られない事もありますが、自衛官として人を助ける仕事をしている主人をとても誇らしく思います。仕事で疲れて帰ってくることもありますが、妻として笑顔で迎え、心も体も休まるように1番近くでサポートしていきたいです。これから先転勤などもあり、更に大変なこともあると思いますが、明るく楽しい家庭を築いていきたいと思っています。

隊員自主募集ご協力をお願い
一般曹候補生・自衛官候補生の応募資格が改正！
18歳以上33未満の男女
自分たちの「同僚・後輩は自らの手で」

悩み相談 0120-1848-38
心理相談（第1師団心理幹部） 8-31-2215
法律相談（第1師団法務官） 8-31-2266
倫理相談（第1師団法務官） 8-31-2265
「うつ」隊員等のサポート 0120-834-939



【お知らせ】
開館時間は平日の9時から15時までです。
お申し込みは1週間前までにご連絡下さい。